

部 長 假 屋 泰 博
研究主任 波多野 智 財
部 員 数 1 1 名

1 研究主題

生きた統計資料の活用を目指して

2 はじめに

新学習指導要領の完全実施を前に、統計資料の活用についての研究を進めることで、各学校で学び合いの授業に生かしながら、新学習指導要領にある資質・能力を身に付けさせたいと考えた。

3 研究経過

- (1) 本年度の方針決定
- (2) 研究組織・研究計画づくり
- (3) 授業実践
- (4) 成果と問題点の明確化

4 研究の概要

研究テーマに沿って、各部員の勤務校において実践・研究を進めた。

5 今後の課題

昨年度までの実践の中で、発達段階に応じて児童・生徒に統計資料の読み取りに対する基本的な知識や技能の定着を図ることができた。本年度は様々な教科での実践を試みていこうと考えていたが、教育研究会を開催することができなかったため、各部員が各々で、文献などを活用して実践可能な教科や単元を模索し、研究を進めた。今後は、各々の部員で考えた教科や単元での実践を進めるとともに、課題解決の手だてとしてグループでの学び合いも活用していきたい。